

合格体験記 (AO方式入学者選抜)

第I項 看護 学部 看護 学科

出身高校名 ゴール学院高校

(1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

理由は3つあります。1つ目は、国家試験の合格率が高く、学内で看護技術を学び、実践できる環境が充実しているからです。2つ目は、同志社大学との単位互換制度を使うことで幅広い学問分野を学べるからです。3つ目は、希望者が参加する海外研修プログラムがあり、この研修を通して国際的な視野が広がると考えたからです。これらの理由から入学したいと強く思い志望校に決めました。

(2) AO方式入学者選抜を受けようと思った理由。

自分の通っている学校がキリスト教の高校だったのと3年間続けた部活動の経験を同志社女子大学のAO入試で直接自分の思いをのせて伝えることができる場だと思いました。AO入試は学力だけでなく、人間性をしっかり見てくださる入試なので、自分のことをアピールし、知ってもらうことができて感じました。1番自分に合った入試と思ったので、AO方式入学者選抜を受けようと思いました。

(3) AO方式入学者選抜においてアピールした活動、経歴、資格等。

バスケットボール部の副キャプテンとしてチームを支えたことにより、人を支えられる力を身に付けることができたことと、視野を広げることができたことです。またキリスト教活動として、被災地の方へ献金をすることによって、時の経過によって関心が薄れ風化していく世間と、一方で時が経過しても苦しいと感じ続けている被災地の方々の一種の温度差を知ることができ、視野を広く持つことの大切さに気付く生活あるようになったことをアピールしました。

(4) 出願書類作成や面接で心がけた点。

〔出願書類作成〕

主張したいことを見失わないように、1本の筋を通して書くことを心がけました。

何度も先生に添削して頂き、自分の中で伝えたいことが読んでくださる方に明確に伝わるように工夫をしました。自分の思いを言語化するために、言葉の意味を先生に聞いたり、辞書を使い、言葉1つ1つに思い込めました。また読んで下さる方がより読みやすいように字を丁寧に書くように心がけました。

〔面接〕

先生に何度も面接の練習をして頂いたりと、自分の言葉で伝えるために紙に1度書いてみたり、様々な視点から質問されることを予測し、自分の出願書類に書いたことをしっかり頭に入れるように心がけました。しかし丸暗記したように話すことがないように意識しました。

相手の目を見て、笑顔を崩さず「ゆっくりはっきり聞き取りやすい声で話すように心がけました。

(5) 選抜を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

AO方式は、自分の思いをアピールできる入試なので、自分のことをよく知る事が大切だと思います。また、出願書類を作成していく上で「何故この大学のこの学科に行きたいのかを明確にすることができ受験に対する気持ちを強くあることができました。焦って中途半端なものにならないように大学の受験情報を前もって調べ、大変ですが勉強と両立し、最後まで諦めずに頑張ってください。